

受験上の注意

筆記試験受験上の注意

1) 試験場

1. 本学 Web サイトのキャンパス案内図を参照のうえ、試験場を間違えないように注意してください。
【URL: <https://www.waseda.jp/top/access/>】

2. 集合

- ① 必ず試験開始 30 分前までに試験教室に入室してください。試験に関する注意事項の説明があります。
- ② 各時限とも試験開始後 20 分を経過してからの入室は認めません。
- ③ 他の受験者が別の教室で面接試験等を行っている場合があるため、集合時は静粛にしてください。
- ④ 試験場では試験監督員の指示に従ってください。

3. 終了・退室

- ① 試験終了時刻より前に答案が完成した場合でも、試験時間終了後、答案の回収・確認作業が完了し、監督員の指示があるまで退室できません。
- ② 試験終了の合図で答案を裏返して各自の机に置いてください。**なお、いかなる場合も解答用紙は必ず提出してください。**

2) 試験時間中に使用できる物品

試験時間中に使用できる物品は以下の通りです。ただし、「試験時間中に使用できる物品」を使用している場合でも、不正行為防止のため、必要に応じて試験監督員が確認することがあります。また、文房具・時計等の貸し出しは行っていないので、必要な物品は各自で忘れずに持参してください。

物品	注意事項
黒鉛筆	HB（黒）のみ使用を認めます。ただし、和歌・格言等が印字されているものは使用を認めません。
シャープペンシル	HB（黒）のみ使用を認めます。 ※替え芯ケースを机の上に置くことは認めません。試験時間中は各自のかばんの中にしまっておき、使用する場合は監督員に申し出てください。
プラスチック消しゴム	
時計・ストップウォッチ	<u>試験教室に時計は設置していませんので、必ず各自で持参してください。</u> ただし以下に留意してください。 ・秒針音のするものは周囲の受験者の迷惑となる可能性があるため、使用を認めません。 ・辞書・電卓等、時計以外の機能のあるものは、使用を認めません。 ・通信機能のあるものは、それが電波を発しない状態であっても使用を認めません。 ・スマートフォン等を時計として使用することは認めません。 ・試験時間中に時計のアラーム音等が鳴った場合、不正行為となることがあります。 ・他の受験者の迷惑になる可能性や試験の円滑な実施に支障をきたす、または不正行為につながると試験監督員が判断した場合、試験教室において試験監督員が確認し、使用を認めない場合があります。
下敷き	大学が貸与するものに限り使用を認めます。
めがね	写真照合の際にいったん外していただくことがあります。
マスク	本学ではマスクの着用は個人の判断に委ねます。着用する場合、写真照合の際にいったん外していただきます。文字や地図等がプリントされているものは使用を認めません。
ティッシュペーパー	袋または箱から中身だけ取り出して使用してください。
ハンカチ・ハンドタオル 座布団・ひざ掛け	文字や地図等がプリントされているものは使用を認めません。
目薬・点鼻薬	試験時間中には机の上に置かず各自のかばんの中にしまっておき、使用する場合は試験監督員に申し出てください。
鉛筆削り	他の受験者の迷惑にならない範囲で使用を認めます。

フェイスシールド	シールド部分が無色透明のものにかぎり使用を認めます。ただし、文字や地図等がプリントされているものは使用を認めません。
ビニール手袋	無色透明のものにかぎり使用を認めます。

3) 試験時間中に使用を認めない物品

上記「2)試験時間中に使用できる物品」以外の物品の使用は、原則として認めません。机上に置いている場合や使用した場合は、不正行為とみなされる場合があります。以下に「試験時間中に使用を認めない物品」の一例を示します。この「入学試験要項」では、携帯電話・スマートフォン・タブレット・ウェアラブル端末等の通信機能を持った機器をすべて含めて「携帯電話等」と表記しています。

物品	注意事項
携帯電話・スマートフォン・タブレット・ウェアラブル端末等の通信機能のある電子機器	時計としての使用も認めません。必ず電源を切ってかばんの中にしまってください。
電卓・電子辞書・音楽プレーヤー・ICレコーダー等の電子機器	必ず電源を切ってかばんの中にしまってください。
耳栓	試験監督員の指示が聞こえない可能性があるので使用を認めません。
飲食物	ペットボトル飲料、飴、ガム等を含みます。
黒鉛筆・シャープペンシル以外の筆記用具(ボールペン、蛍光ペン、赤ペン等)、筆箱、定規、コンパス	
補聴器、帽子、バンダナ、車椅子等	障がい等により使用を必要とする場合は、出願に先立ち、19ページに記載の申請を期限までに行う必要があります。また「帽子」は服に付いているフードを被ることも認めません。
手指用消毒液等の除菌用品	試験時間中は必ずかばんの中にしまってください。

4) 受験環境

可能な限り公平・静粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。

1. 生活騒音(自動車・航空機・風雨・換気・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話等の鳴動など)が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。
2. 試験中に携帯電話や時計等の音・振動などが発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、持ち主の同意なく試験監督員が試験教室外に持ち出し、試験本部で保管すること、あるいはかばんの中から携帯電話・時計等を取り出し鳴動停止の操作をすることがあります。
3. 隣席の受験者の手洗いや、体調不良による入退室のため、試験監督員の指示により席を立っていただくことがあります。その場合でも、原則として試験時間の延長等特別な措置は行いません。
4. 机、椅子、空調、音響設備等の試験教室による相違は一切考慮しません。
5. 他の受験者が迷惑と感じる行為がある場合、別室または別席での受験を求めることがあります。

5) 不可抗力による事故等

台風、洪水、地震、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等や首都圏の主要な交通機関の乱れが発生した場合、試験開始時刻および終了時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については一切責任を負いません。

6) 病気

試験当日は救護所に医師が待機しています。試験中に体調が悪くなった場合には、その旨を監督員にすみやかに申し出てください。また、体調不良が疑われる受験者に対して、監督員が救護所での診察を促す場合もあります。ただし、移動や診療等に時間がかかった場合でも、試験時間の延長は認めません
なお、感染症の罹患を含む体調不良により欠席した場合でも、本学が特別な対応を公表した場合を除いて、追試験の実施や入学検定料の返還は行いません。

面接受験上の注意

対面の面接試験により選考を行います。使用する言語は、日本語です。

1) 選考日程・面接開始時間等

選考日：「1(3)入学試験日程・選考方法」(4 ページ)を参照してください。

2) 概要

- ・対面で実施します。
- ・集合時間・面接開始時間などの詳細は、1 次試験（論文審査）合格者発表日（2024 年 9 月 12 日（木））に、1 次試験合格者にのみ、出願時に入力されたメールアドレス宛てにお知らせします。

3) その他

- ・面接試験当日は、受験票を必ず携行してください。
- ・面接中に資料を参照・提示しながら説明することは、認めません。

その他の注意事項

1. 交通機関

- ① 試験当日は、試験場には早めに到着するよう心掛けてください。タクシーの利用や、自家用車での送迎は避けてください。
- ② 駐輪場はありませんので、自転車での来校は避けてください。
- ③ 気象状況や事故などで JR 山手線をはじめとする首都圏の主要な交通機関が運転を見合わせるような場合には、試験開始時刻を遅らせることがあります。
- ④ 試験終了後は、答案の回収・確認作業が終了するまで退出できません。当日中に遠方に帰る方で、事前に交通機関の手配をする場合は、時間に十分な余裕を持ってください。

2. 帽子・服装

- ① 試験時間中の着帽は認めません(フードの着用も認めません)。ただし、医療上、宗教上の理由で帽子等を着用する場合は、出願に先立ち、お問合せください。
- ② 文字や地図等がプリントされている上着等の着用やひざ掛け・座布団等の使用は認めません。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
- ③ 試験教室内の室温の調整には留意しますが、座席の配置によっては「寒い」、「暑い」など感じる場合がありますので、試験当日は温度調節の可能な服装をお勧めします。

3. 遺失物

物品を紛失した場合は、各試験場の監督員または係員に申し出てください。
なお、翌日以降の問い合わせは受験した学部宛にお願いします。
ただし、試験場における貴重品の管理はご自身が責任をもって行うようお願いします。

以上